

路線バスに表示する広告物に関する自主審査実施報告書

令和〇年 〇月 〇日

川西市長 様

屋外広告物の許可申請者です→ 報告者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）  
〇〇県〇〇市〇〇丁目〇番〇 〇〇ビル〇階  
氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）  
株式会社〇〇〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇  
電話（ 〇〇 ） 〇〇〇 - 〇〇〇〇

路線バスに表示する広告物に関する自主審査実施要綱5の規定により、次のとおり自主審査実施報告をします。

車両番号(ナンバープレート)又は独自に車体に表記している番号を記載してください

車 両 番 号		〇〇〇〇号			
主 な 路 線		〇〇〇〇			
表 示 期 間		令和〇年 〇月 〇日 ～ 令和〇年 〇月 〇日			
広 告 内 容		〇〇〇〇			
自 主 審 査 日		令和〇年 〇月 〇日			
審 査 内 容	項 目		審査結果		
	広告物の位置、形状、面積、材料、色彩、意匠等を周囲の景観と調和したものとする		〇		
	蛍光塗料（蛍光フィルムを含む。）又は反射光の強い塗料を使用しないこと		〇		
	ガ イ ド ラ イ ン ア ウ ト	色 彩 措 置	彩度：高彩度色を用いる場合は、周囲の景観に配慮する	〇	
			面積：色彩の印象が適切なものとなる面積とする	〇	
			色数：適正な数とする	〇	
			色の組合せ：高彩度色の組合せを適切なものとする	〇	
			地（商品名や商品写真以外の部分）が高彩度色にならないようにする		
			地に高彩度色を用いる場合、地色を同一又は類似の色相の範囲とし、図色は白などの無彩色とするなど適切なものとする。		
			地に高彩度色を用いる場合、同一あるいは類似の色相を広告面全体の基調とし、それ以外の色はアクセント程度の小さな面積とする	〇	
			地に高彩度色を用いる場合、色数を少なくするとともに、図色も含めた広告面全体をシンプルなデザインとする		
			地に高彩度色を用いる場合、有彩色同士の距離を置き、白などの無彩色を挟み込む	〇	
			レ イ ア ウ ト	統一感のある印象を与えるレイアウトとする	〇
				車体の形状を考慮したレイアウトとする	〇
				措 置	「メイン」と「サブ」の関係を明確にする
			表示項目の適度な間隔、適度な大きさの変化によりゆとりを持たせ、全体のまとまりを出す		〇

項 目				審査結果
審 査 内 容	ガ イ ド ラ イ ン	レ イ ア ウ ト  措 置	同一の絵柄を複数配置する場合などは、表示項目の配置に適度な間隔を持たせ、適度な大きさの変化をつけることにより、ゆとりを持たせ、全体の印象に統一感を与える。大きく表示した商品を隙間なく連呼するような手法は、圧迫感を与える	○
			不統一な印象を与える表示のレイアウトを避ける	○
			広告表示面全体の視覚的イメージに統一感をもたらすようにする	○
			ホイールハウスに絵柄が切り取られることによって、不自然なものにならないようにするため、デザイン作成の当初から広告が表示される車体の形状に配慮する	○
			バスの車体には、車番などの本体表示されているサインがあり、その周辺に表示項目を配置することは避ける	
		感覚を混乱させ、生理的・心理的に安定を損なう印象を与えるデザインは避ける		